

| | | | | | | | |
|--------------------|--|--|----|---------------|--------|------|----|
| 科目名 Course Name | 医療的ケアⅢ Medical CareⅢ | | | ナンバリング No. | J3-010 | | |
| 年次 | 2年 | 期別 | 前期 | 単位数 | 2 | 授業形態 | 講義 |
| 担当者氏名 | 和田 晴美 | | | | | | |
| 連絡方法 | C-Learning で対応。 または福祉棟 2F 研究室。 オフィスアワーは授業担当時間以外。 | | | | | | |
| 必修/選択 | 選択(介護福祉士養成課程必修) | | | | | | |
| 関連 DP | DP1, DP2, DP5 | | | | | | |
| 授業の概要と到達目標 | <p>「医療的ケアⅢ」では、消化器系のしくみとはたらき、経管栄養によっておこる消化器の症状や経管栄養の対象、経管栄養のしくみと種類について学習する。</p> <p>①消化器の構造と機能について、説明できるようにする。 ②経管栄養の種類について列挙できるようにする。 ③経管栄養を必要とする対象を、列挙できるようにする。 ④経管栄養により生じる危険と安全確認事項を、列挙できるようにする。</p> | | | | | | |
| 授業の方法 | 主に講義形式であるが、グループディスカッションやロールプレイを通して共通理解を目指す。既習内容については、知識の確認をしながら進める。また、学生が具体的にイメージしやすいように、経管栄養で用いる器具・器材については実物を提示する。 | | | | | | |
| 学習成果 | L01 | | | | | | |
| | L02 | 消化器のしくみとはたらき、経管栄養の必要性や生じる危険等をふまえた上で、経管栄養を行う利用者と家族の気持ちを思いはかりながら、医療的ケアである経管栄養を、安全かつ適切に実施するために必要な知識を習得することができる。 | | | | | |
| | L03 | | | | | | |
| | L04 | 経管栄養の実施時には、医師や看護師との連携が必要であることを説明することができる。 | | | | | |
| 課題に対するフィードバック | 小テストは、授業内で解答・説明する。単位認定試験の対策を行い、授業内で解説する。 | | | | | | |
| 教科書/参考図書 | 最新・介護福祉士養成講座 第15巻 医療的ケア 中央法規出版(医療的ケアⅠ・Ⅱ・Ⅳと同じ) | | | | | | |
| 履修上の留意点やルール等 | 医療的ケアはⅠ～Ⅲを履修し単位を修得しないと、医療的ケアⅣを履修することができないので注意が必要である。学習内容を確認し、「こころとからだのしくみⅡ」を復習して、積極的に授業に参加すること。事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回180分とする。 | | | | | | |
| 担当教員の実務経験 | | | | | | | |

| 成績評価の方法と基準 | | | | | |
|------------|--|---------|-----|-----|-----|
| 評価の領域 | 評価基準 | 学習成果の割合 | | | |
| | | L01 | L02 | L03 | L04 |
| 授業参加態度 | 既習内容の復習および教材の準備をして授業に臨み、必要なことはノートにとり、疑問点は質問すること。ロールプレイやディスカッションでは他者の意見を傾聴し、自ら積極的に発言して学びを深められること。 | | 20 | | |
| レポート/作品 | | | | | |
| 発表 | | | | | |
| 小テスト | 第7回に知識の確認のため、小テストを行う。 | | 10 | | 10 |
| 試験 | 授業の振り返り、知識習得の確認のために試験を行う。問題は文章の正誤を判断するものや語群からの選択問題、穴埋め問題、記述問題等。 | | 10 | | 50 |
| その他 | | | | | |
| 合計 | | | 40 | | 60 |

| 回数 | | 授業計画 |
|----|---------|--|
| 1 | 授業内容 | ガイダンス(授業概要 授業の目標と学習の成果 評価方法等)消化器系のしくみとはたらき① 既習知識の確認 |
| | 事前・事後学習 | 1年前期の授業で学んだ「消化器」を復習。解剖と各部の名称をノートに記載する。 |
| 2 | 授業内容 | 消化器系のしくみとはたらき② 消化器官の構造と機能 消化吸収の仕組み |
| | 事前・事後学習 | 授業で配布された資料の解答で、できなかった部分を調べて記載する。 |
| 3 | 授業内容 | よくある消化器の症状① げっぷ、しゃっくり、胸やけ、嘔気・嘔吐 |
| | 事前・事後学習 | 今までにあった消化器の症状を思い出し、どのような状態かをノートに記載する。 |
| 4 | 授業内容 | よくある消化器の症状② 下痢、便秘 経管栄養が必要な状態 |
| | 事前・事後学習 | 経管栄養が必要な状態が、どのような時に、どうして起こるかを調べノートに整理する。 |
| 5 | 授業内容 | 経管栄養のしくみと種類① 経管栄養のしくみ、種類 |
| | 事前・事後学習 | 胃ろうの4タイプのしくみを、解剖図とともにノートに転記し特徴を記載する。 |
| 6 | 授業内容 | 経管栄養のしくみと種類② 注入する内容に関する知識 実施上の留意点 |
| | 事前・事後学習 | 経管栄養で用いられる栄養剤の種類から、具体的な商品名を検索し一覧表を作る。 |
| 7 | 授業内容 | 子どもの経管栄養【グループディスカッション、プレパレーションのロールプレイ】 【小テスト 解答・解説】 |
| | 事前・事後学習 | プレパレーションの準備。必要物品の用意。シナリオの作成。 |
| 8 | 授業内容 | 経管栄養により生じる危険とその対処 感染と予防 経管栄養で起こりうる異変 注入後の安全確認 経管栄養を受ける利用者と家族の気持ち |
| | 事前・事後学習 | 経管栄養を実施された時の気持ちを考え5つ列挙する。 |
| 9 | 授業内容 | 経管栄養の実施手順と観察項目 視聴覚教材「経管栄養」の視聴による実施手順と留意点の確認 |
| | 事前・事後学習 | 経管栄養の手順を調べ、書きだす。 |
| 10 | 授業内容 | 経管栄養で用いる器具・器材 実施手順と留意点の確認 |
| | 事前・事後学習 | 経管栄養の必要物品をノートに整理する。 |
| 11 | 授業内容 | 経管栄養の実施手順と留意点の把握①【演習:胃ろう・腸ろう】 |
| | 事前・事後学習 | 胃ろうがある人へのケアについて調べ、ノートに記載する。 |
| 12 | 授業内容 | 経管栄養の実施手順と留意点の把握②【演習:経鼻経管栄養】 |
| | 事前・事後学習 | 経鼻経管栄養が必要な人へのケアについて調べ、ノートに記載する。 |
| 13 | 授業内容 | 経管栄養に必要なケア 事故発生時の対応と事前対策 |
| | 事前・事後学習 | 経管栄養実施時に考えられる事故について調べ、ノートに記載する。 |
| 14 | 授業内容 | 経管栄養に関する報告と記録 |
| | 事前・事後学習 | 事例の経管栄養実施の報告と記録を考え、記載する。 |
| 15 | 授業内容 | 経管栄養実施時の事故と対応、安全な経管栄養を実施するために 授業のまとめと試験対策 |
| | 事前・事後学習 | 試験対策の問題を繰り返し解答し、不明点について調べる。 |